

1 環境課題

- 清掃工場やリサイクルセンターが老朽化しているため、より一層の適正な維持管理が求められているとともに、新施設の確実な整備が必要となっています。また、全国的に最終処分場の確保が困難な状況にあり、埋立処分からの転換が必要です。
- ポイ捨てごみをなくすため、環境美化推進条例の周知徹底や環境美化活動を通じた意識啓発が必要です。
- 不法投棄を防止するため、土地所有者を含む市民への意識啓発や監視強化が必要です。



2 数値目標

指標名	現状値 (2021(R3)年度)	中間目標 (2027(R9)年度)	最終目標 (2032(R14)年度)
環境美化推進活動参加者数（累計） 【定義】 環境美化活動に参加した人数	2,034,236 人	2,340,000 人	2,640,000 人

3 市の環境施策

◆印は重点取り組み

① 廃棄物処理を適正に行う

- ◇ 建設発生土の有効利用、特定建設資材の分別解体や特定建設資材廃棄物の再資源化を徹底します。
- ◇ 関係機関と協議しながら、熱エネルギーを有効利用した新ごみ処理施設、リサイクル施設の整備に向けた取り組みを行います。
- ◇ 焼却灰等の副生成物の資源化を促進します。
- ◇ 関係機関と協力し、資源物等の持ち去り防止に努めます。
- ◇ 下水道汚泥をセメント原料並びに堆肥として再利用を進めます。

公共工事担当課

環境課

環境課

環境課

下水道課

② 環境美化の推進及び不法投棄の防止を図る

- ◇ 環境美化推進条例の浸透やマナー向上を啓発、やいづビーチクリーン大作戦など環境美化活動の企画・開催・支援をします。
- ◇ リバーフレンドシップ制度を推進します。
- ◆ マイクロプラスチック問題の周知や、ペットボトル・プラスチックの適正処理に対する意識啓発を行います。
- ◇ 不法投棄防止に向けた監視、指導、啓発を行います。
- ◇ 事業者に対して廃棄物の適正な処理の指導を行います。

環境課

河川課

環境課

環境課

環境課

4 市民・事業者の取り組み ◆印は重点取り組み

- ①
 - 建設発生土の有効利用や特定建設資材廃棄物の再資源化を徹底します。
 - 事業活動に伴う産業廃棄物は適正に処理します。
- ②
 - ごみのポイ捨てをしません。
 - 海岸の漂着ごみの清掃やビーチクリーン大作戦に参加します。
 - 自治会等の環境美化活動に参加します。
 - 不法投棄の監視や回収に協力します。
 - 土地所有者は、不法投棄を未然に防ぐための環境づくりを行います。

市民	事業者
	◇
	◇
◇	
◆	◆
◇	◇
◇	◇
◇	◇

コラム



やいづビーチクリーン大作戦

本市と市まちをきれいにする運動推進協議会は毎年、市内の海岸で「やいづビーチクリーン大作戦」を実施しています。

2021（令和3）年度は、企業や自治会、各団体などから市民約3,000人以上が参加し、石津海岸公園や浜当目海岸など10カ所に分かれて清掃活動を展開しました。参加者は海岸を歩きながら、空き缶やペットボトル、紙くずなどを分別収集し、回収量は可燃物6,180kg、不燃物589kgでした。



コラム



マイクロプラスチック問題

近年、マイクロプラスチックによる海洋生態系への影響が懸念されており、世界的な課題となっています。マイクロプラスチックは、海洋を漂流するプラスチックごみが紫外線や波浪によって微小な断片になったものや、合成繊維の衣料の洗濯排水に含まれる繊維、また研磨材として使用されてきたマイクロビーズなどが含まれます。これらのマイクロプラスチックは、無意識のうちに生物の体内に取り込まれているという研究報告があります。そのため、使い捨てプラスチック製品の削減やプラスチック以外の素材への転換などが求められています。



一般に5mm以下の微細なプラスチック類をマイクロプラスチックという

コラム



リバーフレンドシップ

リバーフレンドシップとは、住民と行政（静岡県）による協働事業です。住民・利用者などがリバーフレンド（川のともし）となり、川の清掃や除草等の河川美化活動を行い、地域全体で身近な環境保護への関心を高めることを目的としています。行政としても、静岡県と焼津市が連携して活動団体の取り組みを支援しています。

【資料：静岡県河川企画課】